



## 復興事業の實績

御希望の題目がありました  
から順次掲載いたします

御希望の題目がありましたが  
お知らせ下さい。多數のも

約七萬坪は現在換地指定期の準備を終り、近く指定期の見込でる。海南市は施行地積約一萬三千坪である。海南市等の事業費はその財源の大部が政府の補助によるので、今後亟

下協會  
田 郁 平  
保健協會  
輸送協會

# 和歌山縣民の友

(第11號) 昭和23年1月1日發行

縣下戰災都市の復興事業は、特別都市計畫事業である土地區劃整理と、街路上下水道等の移設事業であつて、これら等事業の本年中の成果を顧みるに、土地區劃整理事業では先づ和歌山市に於ては施行地積約二百萬坪に對し區畫整理の内容である。現形測量は一應完了し清掃、整地、殘存工作物の移轉、除却と約二割進捗を示しているが、區劃整理で最も重要な換地指定及び清算等は二百萬坪の區域を同時に實施することは困難であるため全區域を約十萬坪乃至二十萬坪程度を一地區とする十區域に分けその中最も緊急を要する都心部より順次實施することとし、先ず本町、城北第

一、大新及び雄の四地区につき、換地指定の準備中であつて、これを各個の地区より觀玉七割乃至九割、地区全体より觀て約四割の進捗状況である。新宮市に於ては施行地積約十萬坪の中、戦災地の三萬五千余坪は既に換地の指定と土地境界の植抗とを終り、事業全体の六割程度進捗状況である一方震災地

對策策域で新宮の戦災地と同様に換地の指定と土地境界の植杭を了結し約六割の進捗状況である。街路事業は土地區劃整理の區域内で行物に着手すると共に新宮市の戰災地と海南市は約五割程度である。和歌山市が約三割の進捗程度である。それと同時に和歌山市新宮市にて上下水道事業を実施している。前述の如き進チヨク状況であつて終戦後満二ヶ年を経過した現在に於て

め難等によつて生産の増強は極度に困難であるがかりで生産の復舊は確実である。

	賀新年
和歌山縣 學校給食委員會	和歌山縣社會教育協會 會長 小野眞次
和歌山縣治安協會	和歌山縣工場協會
和歌山縣市町村吏員互 會 會長 荒木和成	和歌山縣町村吏員恩給 組合 組合長 荒木和成

◎ 縣民の友を御贊定價

讀 下 も る 方 へ  
は附錄付きで送料共一月五圓です  
の方は直接係秘書課へ御申入下さい。

## 薪炭對策

難等によつて生産の増強に  
めで困難であるばかりでなく  
生産されたるば供給確保保  
るこそは尙更至難の實情であ  
る。縣に於ては一、二、三日

## 燃料事件

燃料事情は冷寒期を控えて愈々最悪の事態に突入してしまった。縣に於ては豫めこの事態にて極力需給の改善を企てたが、結果として全く成らなかった。

十要である。第一は農業生産の問題である。これは、生産されたもののが供給確保される。これは尙更至難な實情である。第二は、資源の問題である。これは、資源が供給される。これは専門家によれば、資源の供給が確実に保証される。第三は、工業生産の問題である。これは、工業生産が確実に保証される。第四は、貿易問題である。これは、貿易が確実に保証される。第五は、財政問題である。これは、財政が確実に保証される。第六は、労働問題である。これは、労働者が確実に保証される。第七は、社会問題である。これは、社会が確実に保証される。第八は、政治問題である。これは、政治が確実に保証される。第九は、軍事問題である。これは、軍事が確実に保証される。第十は、外交問題である。これは、外交が確実に保証される。

## 県政への希望

## 此への希望

アリス姫の薬を聞  
コント

正月は平和裡に迎

できた。

# 新年

# 新年

和歌山縣水產業會  
日本農民組合  
和歌山縣支部

# 和歌山縣水產業會 日本農民組合 和歌山縣支部

(3) 昭和23年1月1日發行 和歌山縣民の方

二 和昭 江海等重要  
二 縣政策の實施に  
ついては廣く民意を集中した計畫と之を實踐する組織を作つてほしい。

覺をもとめる具体的方策があつてほしい。註、現在の行政機構や議會制度を無視又は軽視する意味ではなく之等の制度を今二層具体化した(廣い)組織にまつてその政策を民主的に強化せんとするものである。

さもあれ、正月は平和裡に迎えることができた。復興の途上の町の小さい家の門にも門松が立てられ、路上の童らの羽子の音にも何となしにはやかなものが感じられた。私は久しい間あわないSを急に訪れる心になつてSが宿所にしている××出張所の宿直室に出かけたぶしよう将をのばしほうだいにして味氣ない様子の彼に「新年だというのにどうしたのだい」というと「うん。たいしたこともないよ」と無感動な返事である。三十ないくつか越してまだ獨身の彼に、私たちが何度結婚の話を持出しててもするりと身をかわすのである。さればさて戀をするようなはでな裏もないのだ。附近をうろつく浮浪少年に體制服を買つて着せたりして近づけていた際に彼が御自慢のスイス製の腕時計を失敬されて泡を食つたり、しがない下級吏員でありながら財布の底をはたいて行き倒れの見知らぬ旅人に與えたりしては、「世間の連中は女道樂をするようになればこれが道樂だよ」「うん、だまされることがあるさ。甘く見られるわけ?そりやあ玉觀の問題さ。どちらにしたつて、俺のやつてることさはまちがつていいだろ」「さ腹をゆすぶつて笑う彼である。

年は更に一つ増した。「結婚なんだ」とうそぶいている。そして未だに下つ端で懇々と勤めている彼に世間なみの幸福を考へてやることさが友人としての私の義務である。そんなことを考へながら人の如何にある」と痛感し、現在Qのような社會不安の中に私のような者でも何かなすことがなくてはと新春の感慨を深くするのだった。

新賀謹		
和歌山縣 授產共同作業協會 會長 管原清六	和歌山縣鍼灸按 マツサージ師會連合會 會長 山下佐一郎	全國農民 和歌山縣
伴野物產 和歌山支店	和歌山縣食糧營團	和歌山縣水
神保信一 那賀郡長田村	淵田富良一 那賀郡田中村	日本農民 和歌山縣